

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式									
信託期間	2027年11月29日まで（2017年11月17日設定）									
運用方針	主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。									
主要運用対象	ベビーフアンド	いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券								
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式								
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の金融商品取引所に上場されている中小型株式（新興市場で取引されている株式を含みます。）の中から、企業の成長性が高く、かつ株価水準が割安であると判断される銘柄を中心に投資します。</li> <li>ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行い、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。</li> </ul>									
主な組入制限	ベビーフアンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への実質投資割合に制限を設けません。</li> <li>株式以外の資産への実質投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>								
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資割合に制限を設けません。</li> <li>株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>								
分配方針	<p>分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>決算日の前営業日の基準価額</th> <th>分配金額（1万口当たり、税引前）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,000円未満</td> <td>経費控除後の配当等収益の範囲内</td> </tr> <tr> <td>11,000円以上13,000円未満</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>13,000円以上</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。 ※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。</p>		決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）	11,000円未満	経費控除後の配当等収益の範囲内	11,000円以上13,000円未満	500円	13,000円以上	1,000円
	決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）								
	11,000円未満	経費控除後の配当等収益の範囲内								
	11,000円以上13,000円未満	500円								
13,000円以上	1,000円									

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド

第3期（決算日：2020年11月30日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド」は、去る11月30日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配	み期騰落	JASDAQ INDEX	期中騰落率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2017年11月17日	10,000	—	—	165.39	—	—	—	8,779
1期(2018年11月29日)	9,351	0	△ 6.5	156.46	△5.4	98.3	—	18,786
2期(2019年11月29日)	9,738	0	4.1	167.74	7.2	98.5	—	13,718
3期(2020年11月30日)	10,762	90	11.4	177.90	6.1	93.9	—	13,775

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国株券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	J A S D A Q	I N D E X		
(期 首)	円	%		%	%	%
2019年11月29日	9,738	—	167.74	—	98.5	—
12月末	10,011	2.8	174.09	3.8	98.0	—
2020年1月末	9,553	△ 1.9	169.10	0.8	95.1	—
2月末	7,873	△19.2	144.95	△13.6	94.9	—
3月末	7,288	△25.2	133.43	△20.5	97.4	—
4月末	8,077	△17.1	145.36	△13.3	94.4	—
5月末	9,243	△ 5.1	160.80	△ 4.1	96.3	—
6月末	9,269	△ 4.8	162.86	△ 2.9	93.1	—
7月末	8,743	△10.2	159.03	△ 5.2	93.5	—
8月末	9,548	△ 2.0	166.60	△ 0.7	94.9	—
9月末	10,293	5.7	172.09	2.6	93.9	—
10月末	10,014	2.8	169.54	1.1	95.5	—
(期 末)						
2020年11月30日	10,852	11.4	177.90	6.1	93.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第3期：2019年11月30日～2020年11月30日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第3期首	9,738円
第3期末	10,762円
既払分配金	90円
騰落率	11.4%
(分配金再投資ベース)	

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.4%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

新型コロナウイルス対策として世界各国が積極的な金融政策や財政政策を実施し、国内株式市況が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などから国内株式市況が一時的に下落したことなどが一時的な基準価額の下落要因となりました。

### 銘柄要因

上位5銘柄・・・メドピア、エル・ティー・エス、ギフトィ、バリュエンスホールディングス、アバールデータ

下位5銘柄・・・DDホールディングス、じげん、シュッピン、東祥、スミダコーポレーション

第3期：2019年11月30日～2020年11月30日

## 投資環境について

### ▶ 国内株式市況

#### 国内株式市況は上昇しました。

期首から2020年1月までは一進一退で推移していましたが、その後、年初に中国で感染拡大が確認された新型コロナウイルスが欧米へ広がったことから世界的景気への悪影響が懸念され急激かつ大幅に下落しました。

3月下旬から6月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対して各国

が積極的な金融政策や財政政策を打ち出したことなどが好感され、国内株式市況は上昇しました。

6月中旬から8月にかけて小康状態が続きましたが、各国の経済活動が徐々に回復する兆しが確認できたことやワクチン開発への期待の高まりなどもあって、来期以降の業績回復期待などを背景に9月から期末まで、国内株式市況は一段と上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド

いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券を通じて、わが国の株式に投資しています。株式の実質組入比率は高位を維持しました。

### ▶ いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

組入銘柄数は概ね67～73銘柄程度で推移させました。株価水準やファンダメンタ

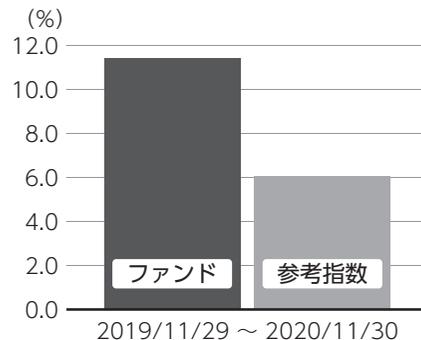
ルズの変化、新規投資候補銘柄との相对比较等を勘案し、適宜入れ替えを行いました。期首、期末の比較では、医師向け情報サイトを運営するメドピアや自社開発ERP（統合基幹業務）ソフトを提供し、マーケティング支援も手掛けるオロなど22銘柄を新規に組み入れました。一方、飲食店運営のDDホールディングスやセラミック部品を主力とするMARUWAなど24銘柄を全株売却しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数はJASDAQ INDEXです。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

## 分配金について

分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	経費控除後の配当等収益の範囲内
11,000円以上13,000円未満	500円
13,000円以上	1,000円

※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2019年11月30日～2020年11月30日
当期分配金 (対基準価額比率)	90 (0.829%)
当期の収益	90
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	829

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド

今後も、いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

### ▶ いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

上場企業のうち、ファンダメンタルズ (財務状況の基礎的条件) が良好で高い成長力を有し、近い将来において飛躍期を迎える可能性が高いと判断され、次のステージでのビジネスモデル、ビジネスプランが明確であると判断される企業を「公開ベンチャー」と位置付け、これらの企業を中心に投資を行います。運用にあたっては中小型株に特化した、いちよ

シアセットマネジメント株式会社の運用アドバイスを受けた、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行います。

中小型成長株を取り巻く環境を注意深く見極めながら、個別企業への調査等により、株価の割安感が強まっていると判断される優良な中小型成長株への注目度を高めていくとともに、ファンダメンタルズ以上に株価上昇がみられる銘柄及び短期間で株価が大幅に上昇したと判断される銘柄については、利益確定の売却や組入比率の調整などを行い、比較的株価が割安水準にあって成長期待の大きい中小型成長銘柄への入れ替えを継続することでパフォーマンスの向上に努めていく方針です。

2019年11月30日～2020年11月30日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	172	1.861	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 91 )	( 0.985 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 71 )	( 0.766 )	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 10 )	( 0.109 )	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.081	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 7 )	( 0.081 )	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.003 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	179	1.945	

期中の平均基準価額は、9,257円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

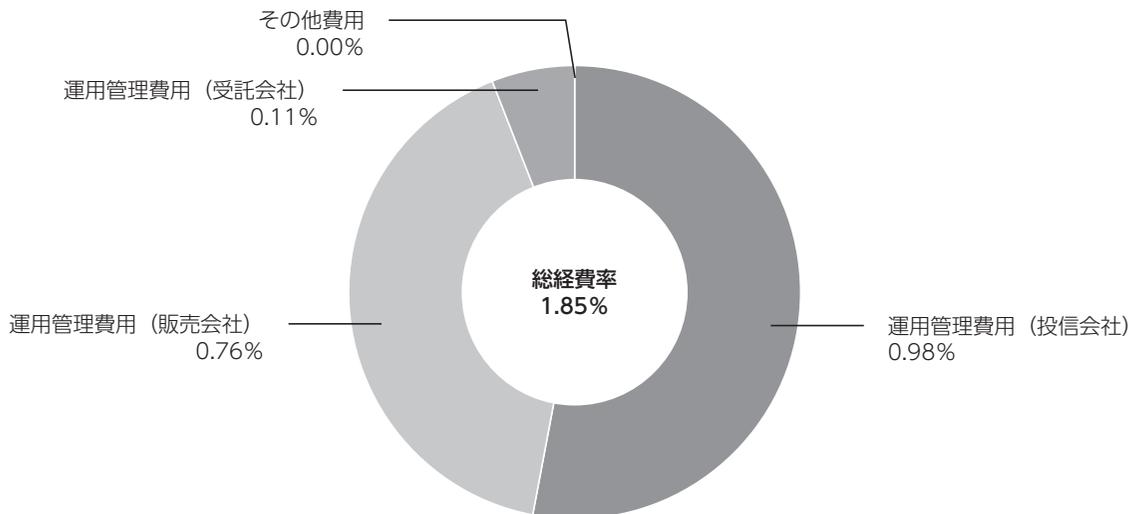
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.85%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年11月30日～2020年11月30日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	千口 3,016,055	千円 3,382,884	千口 4,564,395	千円 5,127,749

## ○株式売買比率

(2019年11月30日～2020年11月30日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	14,647,510千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,313,068千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.02	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年11月30日～2020年11月30日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 6,142	百万円 1,786	% 29.1	百万円 8,504	百万円 1,780	% 20.9

平均保有割合 92.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	11,384千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2,648千円
(B) / (A)	23.3%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

### ○組入資産の明細

(2020年11月30日現在)

#### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	12,381,574	10,833,234	13,736,541

### ○投資信託財産の構成

(2020年11月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	13,736,541	95.5
コール・ローン等、その他	641,625	4.5
投資信託財産総額	14,378,166	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月30日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,378,166,673
コール・ローン等	191,625,169
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド(評価額)	13,736,541,504
未収入金	450,000,000
(B) 負債	603,064,825
未払収益分配金	115,202,356
未払解約金	349,740,570
未払信託報酬	137,910,917
未払利息	116
その他未払費用	210,866
(C) 純資産総額(A-B)	13,775,101,848
元本	12,800,261,868
次期繰越損益金	974,839,980
(D) 受益権総口数	12,800,261,868口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,762円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 14,087,570,137円  
 期中追加設定元本額 3,866,824,970円  
 期中一部解約元本額 5,154,133,239円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0762円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2019年11月30日～ 2020年11月30日
費用控除後の配当等収益額	121,309,052円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	940,372,059円
収益調整金額	32,479,166円
分配準備積立金額	82,798,145円
当ファンドの分配対象収益額	1,176,958,422円
1万口当たり収益分配対象額	919円
1万口当たり分配金額	90円
収益分配金金額	115,202,356円

## ○損益の状況 (2019年11月30日～2020年11月30日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 74,772
受取利息	1,198
支払利息	△ 75,970
(B) 有価証券売買損益	1,756,393,379
売買益	2,170,500,056
売買損	△ 414,106,677
(C) 信託報酬等	△ 262,690,387
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,493,628,220
(E) 前期繰越損益金	△ 349,148,964
(F) 追加信託差損益金	△ 54,436,920
(配当等相当額)	( 29,706,338)
(売買損益相当額)	(△ 84,143,258)
(G) 計(D+E+F)	1,090,042,336
(H) 収益分配金	△ 115,202,356
次期繰越損益金(G+H)	974,839,980
追加信託差損益金	△ 54,436,920
(配当等相当額)	( 32,479,166)
(売買損益相当額)	(△ 86,916,086)
分配準備積立金	1,029,276,900

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	90円
------------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2020年11月30日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

# いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

## 《第4期》決算日2020年11月30日

[計算期間：2019年11月30日～2020年11月30日]

「いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド」は、11月30日に第4期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合に制限を設けません。</li> <li>・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期騰落	中率	JASDAQ INDEX	期騰落			
(設定日)	円	%			%	%	百万円
2017年10月20日	10,000	—	160.93	—	—	—	0.01
1期(2017年11月29日)	11,092	10.9	172.76	7.4	98.0	—	12,993
2期(2018年11月29日)	10,435	△5.9	156.46	△9.4	98.2	—	20,309
3期(2019年11月29日)	11,083	6.2	167.74	7.2	98.5	—	15,025
4期(2020年11月30日)	12,680	14.4	177.90	6.1	94.1	—	15,048

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国証券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率	J A S D A Q	I N D E X		
(期 首) 2019年11月29日	11,083	—	167.74	—	98.5	—
12月末	11,413	3.0	174.09	3.8	98.2	—
2020年1月末	10,907	△1.6	169.10	0.8	95.4	—
2月末	8,992	△18.9	144.95	△13.6	95.2	—
3月末	8,334	△24.8	133.43	△20.5	97.4	—
4月末	9,282	△16.3	145.36	△13.3	97.9	—
5月末	10,680	△3.6	160.80	△4.1	97.6	—
6月末	10,729	△3.2	162.86	△2.9	94.5	—
7月末	10,127	△8.6	159.03	△5.2	95.0	—
8月末	11,090	0.1	166.60	△0.7	96.2	—
9月末	11,986	8.1	172.09	2.6	95.1	—
10月末	11,678	5.4	169.54	1.1	96.3	—
(期 末) 2020年11月30日	12,680	14.4	177.90	6.1	94.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

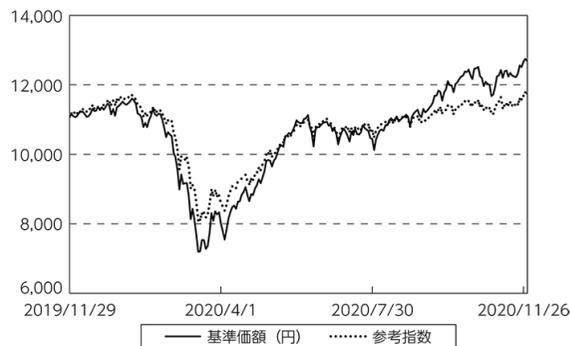
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ14.4%の上昇となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●基準価額の主な変動要因

### (上昇要因)

新型コロナウイルス対策として世界各国が積極的な金融政策や財政政策を実施し、国内株式市況が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

### (下落要因)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大などから国内株式市況が一時的に下落したことなどが一時的な基準価額の下落要因となりました。

### (銘柄要因)

上位5銘柄…メドピア、エル・ティー・エス、ギフトィ、パリュエンスホールディングス、アパールデータ

下位5銘柄…DDホールディングス、じげん、シュッピン、東祥、スミダコーポレーション

## ●投資環境について

- ・国内株式市況は上昇しました。
- ・期首から2020年1月までは一進一退で推移していましたが、その後、年初に中国で感染拡大が確認された新型コロナウイルスが欧米へ広がったことから世界的景気への悪影響が懸念され急激かつ大幅に下落しました。
- ・3月下旬から6月上旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大に対して各国が積極的な金融政策や財政政策を打ち出したことなどが好感され、国内株式市況は上昇しました。
- ・6月中旬から8月にかけて小康状態が続きましたが、各国の経済活動が徐々に回復する兆しが確認できたことやワクチン開発への期待の高まりなどもあって、来期以降の業績回復期待などを背景に9月から期末まで、国内株式市況は一段と上昇しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

組入銘柄数は概ね67〜73銘柄程度で推移させました。株価水準やファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜入れ替えを行いました。期首、期末の比較では、医師向け情報サイトを運営するメドピアや自社開発ERP（統合基幹業務）ソフトを提供し、マーケティング支援も手掛けるオロなど22銘柄を新規に組み入れました。一方、飲食店運営のDDホールディングスやセラミック部品を主力とするMARUWAなど24銘柄を全株売却しました。

## ○今後の運用方針

上場企業のうち、ファンダメンタルズ（財務状況の基礎的条件）が良好で高い成長力を有し、近い将来において飛躍期を迎える可能性が高いと判断され、次のステージでのビジネスモデル、ビジネスプランが明確であると判断される企業を「公開ベンチャー」と位置付け、これらの企業を中心に投資を行います。運用にあたっては中小型株に特化した、いちよしアセットマネジメント株式会社の運用アドバイスを受けた、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行います。

中小型成長株を取り巻く環境を注意深く見極めながら、個別企業への調査等により、株価の割安感が強まっていると判断される優良な中小型成長株への注目度を高めていくとともに、ファンダメンタルズ以上に株価上昇がみられる銘柄及び短期間で株価が大幅に上昇したと判断される銘柄については、利益確定の売却や組入比率の調整などを行い、比較的株価が割安水準にあって成長期待の大きい中小型成長銘柄への入れ替えを継続することでパフォーマンスの向上に努めていく方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2019年11月30日～2020年11月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 9 (9)	% 0.082 (0.082)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
合 計	9	0.082	
期中の平均基準価額は、10,680円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年11月30日～2020年11月30日)

## 株式

国	上場	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
内		千株	千円	千株	千円
		4,080	6,142,680	5,059	8,504,829
		( 469)	( -)		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2019年11月30日～2020年11月30日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	14,647,510千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,313,068千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.02

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年11月30日～2020年11月30日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
			%			%
株式	百万円 6,142	百万円 1,786	29.1	百万円 8,504	百万円 1,780	20.9

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	12,341千円
うち利害関係人への支払額 (B)	2,867千円
(B) / (A)	23.2%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2020年11月30日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
<b>食料品 (2.4%)</b>				
ビックスコーポレーション	68.7	117.4	343,277	
<b>化学 (8.2%)</b>				
日本化学工業	74.1	74.1	189,251	
東京応化工業	50	—	—	
トリケミカル研究所	—	12.3	173,553	
第一工業製薬	99.8	47.3	213,323	
日本特殊塗料	109.5	56.2	64,349	
マンダム	—	121	198,077	
エステー	74.7	—	—	
東洋合成工業	62	—	—	
レック	149	—	—	
J S P	92	78.6	118,450	
信越ポリマー	220.2	220.2	206,988	
<b>医薬品 (4.6%)</b>				
あすか製薬	206.2	188.6	321,374	
富士製薬工業	76.6	—	—	
ダイト	79.8	39.1	141,542	
ベプチドリーム	13.4	13.4	71,288	
ミズホメディー	—	84.3	111,866	
<b>ガラス・土石製品 (—%)</b>				
日東紡績	22.1	—	—	
MARUWA	33.7	—	—	
<b>機械 (12.2%)</b>				
ソディック	287.8	316.4	263,561	
N I T T O K U	135.6	135.6	562,062	
日進工具	56	91.7	268,772	
パンチ工業	377.9	—	—	
タツモ	125.8	125.8	189,454	
日精エー・エス・ビー機械	50.8	—	—	
ハーモニック・ドライブ・システムズ	44	—	—	
澁谷工業	66.7	41.5	151,475	
タダノ	175.3	117.8	96,949	
マックス	—	142.9	200,060	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
<b>電気機器 (13.6%)</b>				
トレックス・セミコンダクター	149	168.9	220,414	
メイコー	135.8	136.8	273,600	
日本トリム	—	70.6	286,989	
フォスター電機	—	143.4	160,321	
スミダコーポレーション	133.7	—	—	
リオン	—	47.2	151,276	
オブテックスグループ	156.2	136	256,632	
アパールデータ	139.7	102.4	354,304	
山一電機	109.5	150.7	228,009	
<b>輸送用機器 (—%)</b>				
三菱ロジスネクスト	115.5	—	—	
<b>精密機器 (2.9%)</b>				
日本エム・ディ・エム	145	135.8	318,451	
朝日インテック	14.6	—	—	
CYBERDYNE	110.6	110.6	98,102	
<b>その他製品 (—%)</b>				
萩原工業	81.4	—	—	
<b>倉庫・運輸関連業 (0.5%)</b>				
キューソー流通システム	77.3	41	67,650	
<b>情報・通信業 (19.8%)</b>				
出前館	176.3	—	—	
ポルトウウィン・ビットクルーホールディ	—	213.4	204,864	
じげん	410.8	—	—	
C R I ・ ミドルウェア	76.8	76.8	146,073	
コムチュア	—	88.9	287,147	
ダブルスタンダード	45.1	39	172,575	
オープンドア	—	173.1	218,279	
オロ	—	85.5	332,595	
ビーブラッツ	19.2	—	—	
ロジザード	46	107.7	182,228	
チームスピリット	—	88	191,576	
トピラシステムズ	—	116.5	201,312	
ギフトィ	—	48.1	146,224	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円	
AI inside	—	0.8	54,560	
EMシステムズ	—	252.2	206,804	
ビジョン	110.7	145.3	167,966	
ファイバークート	—	133.5	284,088	
<b>卸売業 (3.2%)</b>				
レスターホールディングス	110	—	—	
シークス	196.3	161.1	252,282	
パリュエンスホールディングス	122.2	36.9	199,260	
<b>小売業 (6.5%)</b>				
セリア	71.1	—	—	
DDホールディングス	226.9	—	—	
シュッピン	421.2	214.2	178,428	
トリドールホールディングス	115.7	135.1	189,410	
アルビス	81.7	81.7	208,825	
ハンズマン	90.4	90.4	160,369	
シルバークライフ	61.6	92.5	182,225	
<b>保険業 (2.9%)</b>				
アニコム ホールディングス	104.7	370.8	405,284	
<b>その他金融業 (2.2%)</b>				
Casa	321.2	247.5	316,800	
<b>不動産業 (1.5%)</b>				
SREホールディングス	—	65.6	217,136	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円	
<b>サービス業 (19.5%)</b>				
タケエイ	272.2	235.4	306,726	
リンクアンドモチベーション	349.3	349.3	194,909	
リニカル	—	263.6	186,101	
エスクリ	115	—	—	
ツクイホールディングス	—	453.8	262,296	
ライク	100.5	110	230,230	
シーティーエス	443	165.4	155,476	
イー・ガーディアン	84.6	63.9	202,563	
ベクトル	263.5	86	79,120	
シンメンテホールディングス	75.5	151	111,891	
メドピア	—	54.8	362,228	
アトラエ	46.1	74.3	228,101	
キャリアインデックス	162	—	—	
ウエルビー	—	152.1	224,499	
エル・ティール・エス	126.7	—	—	
日本ホスピスホールディングス	85.6	114	211,128	
東祥	63.4	—	—	
合 計	株 数 ・ 金 額	9,115	8,605	14,163,008
	銘柄数 < 比率 >	69	67	< 94.1% >

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2020年11月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	14,163,008	91.4
コール・ローン等、その他	1,340,026	8.6
投資信託財産総額	15,503,034	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月30日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,503,034,734
コール・ローン等	1,144,718,579
株式(評価額)	14,163,008,500
未収入金	156,291,245
未収配当金	39,016,410
(B) 負債	454,200,697
未払解約金	454,200,000
未払利息	697
(C) 純資産総額(A-B)	15,048,834,037
元本	11,867,873,523
次期繰越損益金	3,180,960,514
(D) 受益権総口数	11,867,873,523口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,680円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 13,557,116,903円  
 期中追加設定元本額 3,052,316,156円  
 期中一部解約元本額 4,741,559,536円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2680円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド	10,833,234,625円
いちよし 公開ベンチャー・ファンド	1,034,638,898円
合計	11,867,873,523円

## ○損益の状況 (2019年11月30日～2020年11月30日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	182,924,268
受取配当金	183,070,635
受取利息	3,690
その他収益金	9,270
支払利息	△ 159,327
(B) 有価証券売買損益	1,726,590,607
売買益	4,020,091,256
売買損	△2,293,500,649
(C) 当期損益金(A+B)	1,909,514,875
(D) 前期繰越損益金	1,468,561,282
(E) 追加信託差損益金	368,973,625
(F) 解約差損益金	△ 566,089,268
(G) 計(C+D+E+F)	3,180,960,514
次期繰越損益金(G)	3,180,960,514

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。